

令和2年度  
秩父市社会福祉事業団事業計画

社会福祉法人 秩父市社会福祉事業団

# 令和2年度 社会福祉法人 秩父市社会福祉事業団 事業計画

## はじめに

秩父市社会福祉事業団は、複合型老人福祉施設「ほのぼのマイタウン」の運営を行なうため平成10年に設立されました。平成12年から同施設の運営を開始し、今年で20周年になります。同年、介護保険法が施行され、多くの事業が老人福祉法から介護保険法に移行し、その後も秩父市で設置したデイサービスセンターなどの運営も受託し、高齢者福祉・介護の専門組織として成長してまいりました。

この20年を振り返ると、秩父地域においては多くの介護保険事業所が設立される中、当事業団においては、ここ数年各事業が毎年フル稼働に近い実績を残しています。

## 今年度の取り組み

行政においては、障がい者の高齢化に対応するため、介護保険と障がい者福祉制度に加え、共生型サービスを進めています。当事業団でも、数年前から既存事業のなかで障がい者を受け入れ、更に障がい者福祉の実態とニーズを把握するため、4年前に障がい者相談事業所を開設しました。

この取り組みの結果、2年前から放課後等デイサービス事業を開始し、これに加え秩父市からの移管事業である星の子教室、ふぁいん・ユー、更に高齢者デイサービスを加えた多機能型福祉施設「にじいろテラス」を寺尾地内で建設を進めており、本年8月1日に供用を開始するため、運営体制の検討を行っています。

新施設では、児童発達支援事業と放課後等デイサービスのリンクによる機能強化と事業の充実、ふぁいん・ユーは生活介護事業所の指定を受け、特殊浴槽を配備して重度心身障がい者への対応も行います。また高齢者デイサービスを併設することにより世代間交流を進め、やがて障がい者が高齢になっても同じ施設内でのサービスが受けられる共生型サービス事業所を想定して、総合的な事業の充実に努めます。

事業団としては、本格的に障がい者福祉事業に参入する変革期になりますが、新規事業を充実させるとともに、秩父地域における障がい者福祉事業のニーズを精査し、新たな事業についても検討を進めます。

また、事業団全体の安定した経営を将来にわたって確保するため、既存事業の充実・効率化を進め、利用者に喜んで頂けるための事業を展開してまいります。

## 【総務課】

事業計画	主な事業内容
事業の発展、充実、拡大に努めます。	新施設「にじいろテラス」の開設に向けて、建設工事、駐車場整備、指定申請、備品購入等を進めます。
	「星の子教室」、「ふあいん・ユー」の事業移管については、職員採用、備品等の移譲、事務手続きを秩父市と協議しながら進めます。また、利用者・ご家族・関係機関に十分な説明を行い、理解と協力が得られるように努めます。
	秩父市の指定管理施設は、運営状況の確認、評価を適切に行い、質の高いサービスの提供に努めます。
	防災マニュアルに基づき、災害時の備えを行い、必要な業務が継続できるよう危機管理体制の向上を図ります。また、利用者、職員の安全を守る防犯体制を確立します。
	事業団の事業をより多くの方に知っていただくよう、広報誌、ホームページやパンフレットを利用して様々な情報を発信します。
地域共生社会の実現に向け、地域貢献活動を積極的に行います。	高齢者や障がい者の特性理解を深めるために、今までに培った経験や専門的知識を地域へ発信します。
	地元町内会や民生委員と連携し、地域の状況を把握しながら見守り活動を進めます。
	生活困窮世帯等、複合的な課題を抱える世帯の相談に応じ、地域での生活を支えます。
	地域との連携を強化し、町内会活動の参加や交流を積極的に行います。
	災害時には福祉避難所としての機能を発揮できるよう、秩父市や近隣施設等と協力を図ります。
事務手続きを適正に行い、透明性のある経営を行います。	施設整備に係る補助金、建築費、備品購入費等を予算計上し、適切な会計処理を行います。また、公益事業から社会福祉事業へ移管となる「ふあいん・ユー」については、適切な資産処理を行います。
	法人全体の経費削減に向けて、定期的に予算の執行状況の確認、報告、提案を行います。
	各種助成金の活用を積極的に行い、事業運営の安定に努めます。
職員の採用、定着を図り、人材育成に努めます。	新施設「にじいろテラス」の開設、既存事業の充実のため、介護職、保育士等の採用に努めます。そのために、ハローワーク、各種学校とこれまで以上に密な連携を図ります。
	働き方改革関連法の改正に伴ない、職員が安心して働くことのできる職場環境づくりを推進します。
	個々の専門性を向上させるため、職員の資格取得に対する支援を行います。
建物及び設備等の適正な管理、見直しを行います。	省エネに対する取り組みを推進し、環境面に配慮した設備の選定を行います。
	老朽化している設備に関して、修繕及び機器更新を計画的に行います。また、施設に関する大規模改修工事については、秩父市と協議を重ね補助金や積立金の活用を検討します。

**【秩父市特別養護老人ホーム借楽苑】**  
**【秩父市特別養護老人ホーム借楽苑 短期入所】**

事業計画	主な事業内容
一人ひとり誰もが生きがいを感じ、笑顔あふれる暮らしの場を利用者と共に創造します。	<p>利用者自治会（なかよし会）において、生活の希望や生活課題への意見を受け止め、利用者の思いに添った暮らしを実現します。</p> <p>行事、レクリエーションや趣味活動等に取り組み、生きがいづくりを行います。</p> <p>利用者一人ひとりの特技を活かしての活動や、利用者の支え合い等を支援し、主体的な暮らしの場を実現します。</p>
個人史や人と人との繋がりを尊び、ご家族や地域との関係を大切にすることで、地域社会の一員としての暮らしを実現します。	<p>広報誌の発行、フェイスブックの活用、日々の暮らしの写真の掲示等により、施設での暮らしを発信することで、ご家族や地域の方にとって施設が身近なものとなるよう取り組みます。</p> <p>ほのぼの祭りやほのぼの感謝祭、食事会など様々な行事にご家族に参加いただき、家族関係を深めると共に、ご家族の協力のもと施設生活の充実に取り組みます。</p> <p>利用者、またその家族の希望に寄り添い、外出・外泊の支援や地域行事への参加等を行うことで、新たな出会いや地域との繋がりが得られるよう取り組みます。</p>
生活困難者等への支援において、迅速かつ適切に対応することで施設機能を最大限、地域に還元します。	<p>秩父市をはじめとした行政機関や包括支援センター等との連携を密接に持ち、虐待等の緊急ケースに迅速に対応します。</p> <p>重度認知症者や医療ニーズのあるケースについても積極的に受け入れます。</p> <p>特養入所利用率96%以上、短期入所利用率95%以上を実現します。</p>
専門機関、専門職としての誇りを持ち、組織として研鑽を積み、謙虚に実践の向上に努めます。	<p>職員間の意見交換を活発に行うことで、一人ひとりの思いを実践の中に活かし、各人のやりがいを高揚し、組織として研鑽を深めます。</p> <p>認知症の専門研修、人権擁護、事故防止、感染症に関する研修等を行うことで、知識の共有と深化をはかり、職員の資質向上に取り組みます。また、介護福祉士、ケアマネージャー等資格取得に向けての気運を醸成し支援します。</p> <p>嘱託医との連携を適切に行います。また、日々の健康観察を行い、その情報を共有しケアを実践することで健康増進に努めます。</p> <p>定期的な歯科往診と歯科衛生士の指導・助言に基づき、口腔ケアに取り組むことで健康づくりにつなげます。</p> <p>苑内美化やさわやかな空間づくりに取り組み、心地よく生活できる環境を実現します。また、個別の身体状況等に応じ生活環境を整えることで、安全な暮らしの場を実現します。</p> <p>食べることの喜びが感じられるよう、ゆったりとした食事場面をつくります。また、一人ひとりの嗜好や食事摂取状況にあった食事提供を行い、食生活の充実に努めます。</p> <p>グループでのゆったりとした入浴場面の提供や個別性を重視した快適な排泄環境を整えることで、安楽な生活が送れるよう取り組みます。</p> <p>他職種連携のもと個別機能訓練計画に基づいたリハビリを実践することで、身体機能を維持し、安全に可能な限り自立した生活が送れるよう取り組みます。</p>

## 【秩父市立養護老人ホーム長寿荘】

事業計画	主な事業内容
<p>利用者の自主的な生活が営めるよう自己決定を尊重し、自立支援に向けた取り組みを行います。また、ご家族や地域との繋がりを大切にし、地域社会の一員としての暮らしを実現します。</p>	<p>利用者の思いやそのおかれた状況を鑑みて、明るく家庭的な雰囲気施設の施設生活を通して、その人らしい生活の実現に努めます。</p>
	<p>自治会議の開催を通じ、利用者の声に耳を傾けることで、その声を行事やレクリエーション、趣味活動等に反映します。 利用者個々の身体状況に応じ、少人数でのグループ外出や県外への宿泊旅行など、画一的にならない外出支援、社会参加に取り組みます。</p>
	<p>広報誌の発行や、日頃の生活状況の報告、相談の実施等により、ご家族との繋がりが深まるよう努めます。</p>
	<p>地元町内の地域活動への参加を維持し、利用者が地域の一員として生きがいを持てるよう支援するとともに、地域貢献事業の発展に努めます。</p>
	<p>利用者の施設内作業を促進し、働くことの喜びと共同生活の喜びを感じることができるよう支援します。</p>
<p>専門機関・専門職として、研鑽を積み、改善改革に取り組み、質の高いサービスを提供します。</p>	<p>職員間、職種間の情報共有と意見交換により、その人らしさを尊重した支援をチームで実践することで、質の高いケアの実現に努めます。</p>
	<p>小さな体調変化をしっかりと観察し、嘱託医を中心とした医療機関との連携を深めることで、利用者の皆様がいつまでも元気に過ごせるよう、健康管理に努めます。</p>
	<p>身体状況の把握、生活環境の整備、事故防止策の分析などに取り組み、安心で安全な生活の場を構築します。</p>
	<p>要介護者が必要なサービスを利用できるよう関係機関と協力し、住み慣れた施設での生活が維持できるよう支援します。</p>
	<p>退所後も安心して生活を送るため、身体状況に応じたサービスを受けられるよう、関係機関と連携を図ります。</p>
	<p>多様で幅広いニーズに対応できるよう、介護保険施設の利用なども含め、多角的な視点から適切なサービスの提供を行っていただけるよう努めます。</p>
<p>全職員で現状課題を把握し、健全な施設運営を図ります。</p>	<p>入所利用率98%を目標とし、安定した運営を図ります。</p>
	<p>諸経費のコスト削減に努め、適切な事業運営を図ります。</p>
	<p>秩父市をはじめ、入所措置機関と円滑かつ速やかな連携に努め、経済的および環境的な理由による生活困窮者等に対する社会資源として地域社会に貢献します。</p>

## 【蒔田デイサービスセンター】

事業計画	主な事業内容	
<p>地域と共に歩むデイサービスを目指し、利用者が、住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせるよう支援します。</p>	<p>利用者が可能な限り、自宅で自立した生活が送れるよう、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関、家族等と密に連携し、支え合いながら支援していきます。</p>	
	<p>自らが、介護資源の一つとして、またその他の地域資源も活用し、より多くの方々に利用して頂けるようサービスの提供に努めます。</p>	
	<p>広報誌・フェイスブック等で広く活動内容を情報発信し、地域に根付いたデイサービスを目指します。</p>	
	<p>外出行事等の社会参加を通じて、身体機能、生活機能の維持向上を図ります。</p>	
<p>利用者のニーズを把握すると共に、職員の専門的知識・技術を深め、人材育成を図り、質の高い福祉サービスの提供を目指します。</p>	<p>毎月のミーティングや毎日の申し送りの中で、利用者の情報共有やニーズを確認し合い、利用者一人ひとりに寄り添った支援を行います。</p>	
	<p>外部・内部研修へ積極的に参加し、多職種との交流を深め、専門的な知識や技術の習得に努めます。</p>	
	<p>安全で快適な職場環境を目指し、自己啓発しやすい体制作りの中で、職員のメンタルヘルスの維持を図ります。</p>	
<p>職員個々の成長を図り、統一したケアや質の高いサービス提供に努めます。また資格取得に向けた支援体制を充実させることで、意識・資質向上を目指します。</p>	<p>安全で快適な職場環境を目指し、自己啓発しやすい体制作りの中で、職員のメンタルヘルスの維持を図ります。</p>	
	<p>積極的に利用者の受け入れを行い安定した施設運営を行います。</p>	<p>事業所の稼働状況を把握し、利用率の向上（目標80%）を目指し、適正な収入確保に努めます。</p>
		<p>理学療法士による専門的なりハビリの実施と、充実した看護体制により、医療ニーズの高い方や重度の方など困難ケース等にも柔軟に対応し、積極的受入れを行います。</p>
<p>業務の効率化を図るため、マニュアルを整備し、職員一人ひとりがコスト意識を持ち、環境にも配慮した運営を目指します。</p>		
<p>安心・安全なサービス提供を目指し、日々業務の中で事故防止に努め、安定した施設運営に取り組めます。</p>		

## 【秩父市ヘルパーステーション】

事業計画	主な事業内容
<p>在宅での生活を継続できるよう利用者の自立度や障がい特性に合わせたサービスが提供できるよう、職員の資質向上を図ります。</p>	<p>医療・福祉・介護等に関する外部研修への参加、新規職員研修として特養・デイサービスでの実務研修を実施し職員のスキルアップを図ります。</p>
	<p>月1回のミーティングを開催し、利用者の情報共有、支援内容の確認、事例検討・職員研修の実施、報告・連絡・相談の場とします。</p>
	<p>介護福祉士等の国家資格や障がい者支援に関連する資格取得をサポートし、事業団の専門機能を高めます。</p>
<p>利用者及び利用者家族や地域との連携を深め、地域に根付いた事業所を目指します。</p>	<p>関係機関との情報交換等を行い、連携を強化することで、発生する課題に対し迅速な対応を行います。</p>
	<p>利用者及び家族に対し支援内容を解りやすく丁寧に説明し、意向や希望を尊重した支援を行います。</p>
	<p>利用者・家族等へ様々な情報を発信できるよう、自宅訪問の際に適切な情報提供と、必要に応じてケアマネージャーや関係機関の情報提供を行います。</p>
<p>高齢者及び障がい者の積極的な利用受け入れを行い、安定した事業所の運営を行います。</p>	<p>支援困難・緊急なケースを積極的に受け入れるため、責任者を4名配置しスムーズにサービス提供が行えるよう努めます。</p>
	<p>訪問者数の増加（目標140名）を図ります。</p>

## 【秩父市高篠デイサービスセンター】

事業計画	主な事業内容
利用者一人ひとりが、それぞれの持てる力を活かしながら、住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせるよう支援します。	<p>利用者が住み慣れた環境の中で生活が続けられるよう、地域、医療、介護といった他職種連携・協働による「チームケア」で支援します。</p> <p>利用者が持つ豊かな経験と知識、技能を活かせるような環境を整備します。</p> <p>利用者の身体状況だけでなく、関わる個別の環境にも対応しながら支援してまいります。</p>
多様化する利用者ニーズに応えられるよう、福祉サービスの提供体制の充実を図り事業を展開していきます。	<p>困難ケースの積極的な受け入れや多様化する個別ニーズの柔軟な受け入れに努めます。</p> <p>フォーマルなサービスだけでなく地域資源も活用し、利用者一人ひとりに合ったサービス提供を行います。</p> <p>上質なサービスを安定的に供給するため、可能な部分での支出削減、収入の確保に努めます。</p>
人材育成に努め、利用者のニーズを把握するとともに、質の高い福祉サービスの提供を目指します。	<p>職員の資質の向上に資するため、年間計画に基づいて職員対象の研修を積極的に行います。</p> <p>職員それぞれの立場にあったスキルアップ・モラルアップ・モチベーションアップを図り、チームによる質の高い福祉サービスの提供を目指します。</p> <p>OJT・OFF-JT、自己啓発等の行いやすい体制づくり、資格取得に向けた支援体制の充実に努めます。</p>
地域に広く開かれた高齢者福祉施設として、積極的に地域と交流を深める機会を設けます。	<p>地域特性を活かしつつ、学校や学生ならびに地域ボランティアの受け入れを積極的に行います。</p> <p>地域住民から寄せられる介護相談等に積極的に対応し、在宅支援の役割を担います。</p> <p>広報誌・ホームページ等で広く活動内容を情報発信します。</p>

## 【秩父市上吉田デイサービスセンター】

事業計画	主な事業内容
<p>共通の課題認識をもち全職員で施設運営に参画します。</p>	<p>日々の光熱水費の使用状況を把握し、節電・節水に努めます。必要物品について検討し諸経費等のコスト削減を図ります。</p>
	<p>制度の正確な把握と利用率の維持に努めます。</p>
	<p>広報誌やホームページを活用した積極的な広報活動を行います。また、ケアマネージャーへのアプローチを積極的に行い、利用率の向上を図ります。</p>
<p>支援困難事例や重度の利用者の受け入れを積極的に行い専門職として質の高いサービスを提供します。</p>	<p>コミュニケーション技術、介護技術を習得し、職員一人ひとりのスキルアップを図ります。様々な利用者への支援が的確に行えるよう体制を整えます。</p>
	<p>緊急時の対応、事故防止、認知症についての研修を実施し、職員の資質の向上を図り、利用者に安心、安全なサービスを提供します。</p>
	<p>月1回、ミーティングを実施し、利用者の状況や事業所内での課題を検討し、事業所全体のサービスの質を高めます。</p>
<p>近隣の地域の人との関係を構築していきます。地域に密着したデイサービスを実現します。</p>	<p>地域住民から寄せられる介護相談等に積極的に対応し、地域住民が安心して在宅生活が継続できるよう地域に密着した支援をします。</p>
	<p>近隣の吉田地域行事や小鹿野方面への外出を実施し、地域との交流、つながりが深められるよう支援します。</p>
<p>その人らしさを大切にし幸せを感じる事ができるようなデイサービスを全職員で創造します。</p>	<p>全職員でレクリエーション活動を考え作業分担などを協力して行い、利用者のQOLの向上に努めます。</p>
	<p>利用者の個別ニーズに合わせた外出やレクリエーションを実施することにより個別支援の充実を図ります。</p>
	<p>ボランティア、慰問の受け入れを積極的に行い地域、世代間の交流を深めていきます。</p>

## 【秩父市社会福祉事業団 居宅介護支援事業所】

事業計画	主な事業内容
<p>市町村・包括支援センター及び医療機関との連携を全職員で深め、積極的に新規利用者の受入れを行います。また、市町村からの委託業務等も継続的に行います。</p>	<p>困難ケースや緊急ケースの受け入れを積極的に行い、各個人がその人らしい生活が送れるように支援します。</p> <p>年間を通して月245件以上の支援者数を維持します。</p> <p>介護保険委託業務の認定調査を受託します。</p> <p>『介護予防・日常生活支援総合事業』の委託を積極的に行います。</p> <p>認定審査会への出席を継続して行います。</p> <p>市町村及び各包括支援センター、医療機関や介護保険事業所との情報交換を行い更なる連携強化を図ります。</p>
<p>各介護支援専門員が専門的な知識を深め、ケースワークの技術を更に高めます。個人のケースについて情報を共有し、チームでの支援を実践していきます。</p>	<p>地域サービスや新規事業所、インフォーマルサービスの把握を行うことで、ケースワークの質を高めます。</p> <p>介護支援専門員更新研修、県・市町村・各事業所の主催する研修へ積極的に参加し、専門的知識の向上に努めます。</p> <p>「特定事業所加算Ⅱ」の算定を継続できるよう、算定要件を理解し、体制・支援内容等を維持していきます。</p> <p>計画的な研修を介護支援専門員へ向けて実施します。</p> <p>他居宅介護支援事業所と連携し事例検討会を開催することで、マネジメント力を高めます。</p>
<p>包括的ケアシステムや地域共生社会を意識しながら支援し、地域課題等にも積極的に関わることで、地域のサービスの充足を図ります。利用者の抱えるニーズに合わせた支援を行っていきます。</p>	<p>包括支援センター等から依頼された困難ケース等の事例にも積極的に受け入れを行います。</p> <p>「運営基準減算」や「特定事業所集中減算」等の適用を受けないよう適正な事業運営を継続します。</p> <p>利用者のニーズに合わせたサービス利用を柔軟に対応し安心して生活ができるよう支援します。</p> <p>「地域ケア会議」「各包括支援センター主催の研修や勉強会」へ参加します。</p>

## 【高齢者相談支援センター】

事業計画	主な事業内容
地域に密着した事業展開を行うために、地域福祉関係者等との交流を継続します。	民生委員や在宅支援員との連携強化することで、地域の実態を把握します。
	民生委員や在宅支援員等を対象とした、相互の理解を深めます。
地域住民や民生委員・在宅福祉員と共に地域の活性化を図ります。	担当地域において福祉サービスを必要としている方に対して、相談や援助を迅速に行います。

## 【秩父市立上吉田高齢者生活支援ハウス 吉祥苑】

事業計画	主な事業内容
<p>高齢者生活支援ハウスに求められる役割を自覚し、地域福祉の発展と向上に貢献します。</p>	<p>秩父市（吉田・荒川大滝含む）包括支援センター、居宅介護支援事業所などの関係機関と連携し、入居等の相談、緊急入居事例等に速やかに対応します。</p>
	<p>とくし丸、松本商店等の移動商店での買い物を支援します。その他の買い物において、地元商店等を積極的に活用します。</p>
	<p>地域行事等への参加、地域行事の招致（会場の提供など）、地域と共同しての各種訓練などを実施し、上吉田地区の福祉と利便性の向上に貢献します。</p>
<p>職員1人ひとりの相談援助技術の向上を図り、質の高い福祉サービスを提供します。</p>	<p>職員研修・勉強会などを実施し、入居者の高齢化・重度化に応じた適切な生活支援のための知識と技術の向上を図ります。</p>
	<p>物品の購入や施設整備の保守・修繕について適正な管理を行います。職員による日常的な保守点検および修繕を実施します。</p>
	<p>ひだまり会（入居者自治会）を定期的実施します。個別の相談に対し、面接や日常の聞き取りを行い、入居者のニーズをくみ上げます。</p>
<p>「一日でも長く地元地域で暮らしたい」という要望を実現するため、安心・安全な生活を送れるよう支援します。</p>	<p>市民福祉課、包括支援センター、警察署等の関係機関と連携し、入居者の消費活動を守り、日常生活の安心感を高めます。</p>
	<p>上吉田医院、倉林歯科クリニックによる内科・歯科往診を実施します。必要に応じ、各科の受診を支援します。早朝・夜間帯の職員不在時の緊急事例に対し、関係者間で連携し迅速に対応します。</p>
	<p>消防・災害・防犯に関する訓練や研修を実施し、防犯意識や安全に対する意識を高め、施設の安全性を向上します。</p>

## 【居宅介護支援事業所 ひだまり】

事業計画	主な事業内容
<p>新規事業所として市町村・包括支援センター及び医療機関との関係性を築き、積極的に新規利用者の受入れを行います。また、市町村からの委託業務等を受託します。</p>	<p>困難ケースや緊急ケースの受け入れを積極的に行い、各個人がその人らしい生活が送れるように支援します。</p> <p>年間を通して月28件以上の支援者数を維持します。</p> <p>介護保険委託業務の認定調査を受託します。</p> <p>『介護予防・日常生活支援総合事業』の委託を積極的に行います。</p> <p>市町村及び各包括支援センター、医療機関や介護保険事業所との情報交換を行い更なる連携強化を図ります。</p>
<p>介護支援専門員として専門的な知識を深め、ケースワークの技術を高めます。</p>	<p>地域サービスや新規事業所、インフォーマルサービスの把握を行うことで、ケースワークの質を高めます。</p> <p>介護支援専門員更新研修、県・市町村・各事業所の主催する研修へ積極的に参加し、専門的知識の向上に努めます。</p> <p>月1回以上法人内における居宅介護支援事業所と合同の会議を行い、情報を共有していきます。</p>
<p>包括的ケアシステムや地域共生社会といったことを意識し、地域特性に合わせた支援を行います。利用者の抱えるニーズに合わせた支援を行っていきます。</p>	<p>包括支援センター等から依頼された困難ケース等も積極的に受け入れを行います。</p> <p>「運営基準減算」や「特定事業所集中減算」等の適用を受けないよう適正な事業運営を継続します。</p> <p>利用者のニーズに合わせたサービス利用を柔軟に対応し安心して生活ができるよう支援します。</p> <p>「地域ケア会議」「各包括支援センター主催の研修・勉強会」へ参加します。</p> <p>同一敷地所内の生活支援ハウスや通所介護等の状況の把握を行い、地域に密着した支援を展開していきます。</p>

## 【秩父市重度心身障害者通所施設 ふあいん・ユ一】

事業計画	主な事業内容
<p>事業団のスケールメリットを活かし、安定した支援提供に繋がります。また、利用者支援の質の向上と地域他事業所との差異化を図り、地域で選ばれる事業所を目指します。</p>	<p>利用者一人ひとりの心身状況や行動特性などを考慮し、家庭と連携を図りつつ個々に応じた支援を行います。</p>
	<p>利用者の持てる能力を引き出し、生活の質の向上・社会的自立に向けた支援をします。</p>
	<p>家族、関係機関等との連携に努め、地域での生活を維持できるように支援します。</p>
	<p>地域他事業所との差異化を図るために、利用しやすい環境を整備するとともに、新たなプログラム開発を目指します。</p>
	<p>広報誌の発行、フェイスブックの活用により広く活動内容を情報発信します。</p>
<p>人材育成を通し、支援体制のレベルアップを図ります。また、業務負担の偏りを精査し、平準化を図ります。</p>	<p>年間計画に基づき外部研修への参加、職場内研修を実施し、職員の資質向上と意識・ケアの統一を図ります。</p>
	<p>資格取得に向けた支援体制、OJT・OFF-JT、自己啓発等のしやすい体制を構築します。</p>
	<p>現在の業務における課題を考え、各事業所と連携を図り、業務が円滑に進むよう改善やマニュアルの整備等に努めます。</p>
<p>日常生活が困難な障がい者の需要に適切に応え、喜んで利用していただける事業所、選ばれる事業所となり、地域に貢献し、地域のセーフティーネットとしての役割を果たします。</p>	<p>生活介護の各種行事等を通じて地住民との連携及び協力関係を深めます。</p>
	<p>体験学習及び実習生、ボランティア団体・個人を問わず積極的に受け入れてまいります。</p>
	<p>大学生や短大生及び専門学校生の教育実習等を積極的に受入れ、進路等の選択肢の一つになるように支援や相談を通し、地域資源の一つとして認識が深められるよう、地域に開放された事業所を目指します。</p>

## 【障がい者相談支援センター にじいろ】

事業計画	主な事業内容
関係機関との連携を強化し、積極的に利用者の受入れを行います。	市町村、医療機関、教育機関、関係事業所へ積極的に足を運び、意見交換や状況確認を行うことで連携を強化します。
	関係機関からの相談に対して、迅速・柔軟な対応をすることで総支援者数140名以上を目指します。
	相談実績を積むことでネットワークをさらに強化するとともに、各種ケースの相談に積極的に協力し、相談支援事業所としての機能を最大限発揮します。
相談援助技術の質を高め、自立支援に向けた支援に努めます。	ライフステージに応じた切れ目のない支援と個人のストレングスを活かしたサービス等利用計画の作成を行います。
	本人の持てる力を最大限発揮し、生き活きと生活できるよう、意見を尊重し、自己決定ができる支援を行います。
	本人が望む生活を実現するために、サービス担当者全体が同じ方向を向いて支援できるよう、定期的に会議の場を設定します。
	モニタリングを重視し、状態の変化にすぐに対応、前向きな方向性を示せるよう支援します。
	県、市町村、自立支援協議会等が開催する研修会、勉強会に積極的に参加し、専門性の向上に努めます。
障がい者へのサポートを強化し、地域でできる取り組みを考え、実行します。	地域の社会資源の一つとして認知してもらうとともに、その専門性を地域に貢献できるよう、定期的に障がいに関する相談会等を行います。
	にじいろテラス開設にあたり、関係機関、地域、利用者、家族等から情報収集を行い、必要とされるサービスについて実情を元にした提案を行います。
	地域の課題について自立支援協議会等へ提言し、地域全体の障害福祉サービスの底上げを図ります。
	地域等で障がいに関する研修会を実施し、障がいの理解を広めます。

## 【放課後等デイサービス ゆくる】

事業計画	主な事業内容
市町村、関係機関と連携を図り質の高いサービスを提供します。	成長に合わせた支援が提供できるよう、ご家族や特別支援学校、秩父市障がい者福祉課等と関係機関との連携に努めます。
	開かれた事業所として信頼を得られるよう地域との結びつきを重視し、特別支援学校をはじめとした関係機関と情報の共有を図りながら障害者福祉の向上に努めます。
	非常災害訓練、安全点検、防犯訓練を定期的実施し、安心して過ごせる場を提供します。
発達障害に対する専門性を持ち、家族や児童の立場に立った支援を提供します。	個々の利用児童の希望を叶えるとともに、ご家族の願いを個別支援計画に反映できるよう適切かつ効果的な支援を提供します。
	様々な年代の児童が通うという強みを生かし、集団の中でしか学べない、体験、経験を重視した支援をおこないます。
	多様なニーズにこたえられるよう障害特性についての研修を適宜おこない職員の資質向上を図ります。
	児童一人一人のストレングスに着目して、個々の成長に見合った取り組みを実践します。また、放課後や長期休暇中の安心できる居場所として、楽しみながら通所できる施設を目指します。
	家族の要望や相談に対応するため、専門知識の向上に努めます。また、日ごろの状況の報告、連絡、相談を大切にし、ご家族との信頼関係を築きます。
	定期的に家族懇談会を開催し、児童の詳細な様子の報告や、要望の聞き取りをします。
	活動内容を広報誌やホームページ等で広く発信します。
	大事故へと至らないよう、ヒヤリハットの事例検討を適宜行い事故防止に努めます。
	個人情報的重要性を職員ひとりひとりが認識し、利用および提供に関して適切な取り扱いをします。
多機能型福祉施設開設にあたり、施設移行を円滑に進めます。	各児童の個性に配慮し、混乱が生じないように、円滑な施設移行を実施します。
	多機能型施設のスケールメリットを生かし、事業所の垣根を越えた交流を図ります。
	他事業所の見学を行うことにより視野を広げ、既存にとらわれない施設運営を目指します。

## <にじいろテラス> 令和2年8月開設

【寺尾デイサービスセンター】

【ふあいん・ユー】

【ゆくる】

【星の子教室】

【障がい者相談支援センター にじいろ】

### 事業計画

令和2年8月の事業開始に向けて、施設整備においては利用者やご家族また地域の皆さまのご意見をしっかりと受け止め、新施設『にじいろテラス』が皆様に頼られ愛されるものとなるよう準備を進めてまいります。また、利用者のニーズに応じた備品等の選定を行い施設機能の充実を図るとともに、人材の確保と資質の向上に努め、質の高いサービスが提供できるよう取り組みます。

事業運営においては、複合型施設のメリットをいかんなく発揮するよう取り組みます。児童発達支援事業「星の子教室」、放課後等デイサービス「ゆくる」の機能連携により、障がいを持つ子どもたちの発達を総合的かつ継続的に支援します。また、生活介護事業「ふあいん・ユー」との連携により、幼児・学童期から成人期まで通ずる幅広い支援を実現します。

「ふあいん・ユー」においては、医療ニーズを有するなど重度の障がいを持つ方が安心して過ごせる場としての機能の充実を図るとともに、様々な種別の障がいを持つ方を受け入れ、ひとりひとりが自分らしく自立した社会生活を送る力を獲得できるよう支援します。

障がい者支援事業と高齢者事業である「寺尾デイサービス」との交流を持ち、世代やその方の置かれている状況など様々なものを超えて共に過ごすことで、高齢者の持つ経験や人生の厚み、子どもたちの持つ活力等が相互に作用する場を目指します。こうした実践により、『にじいろテラス』の名称に込めた思いである共生を目指してまいります。

法人の取り組みである公益的事業として、大滝地区、浦山地区に訪問し生活課題を共に考えサポートする事業「あんきな暮らしサポート」、山間地域等で移動に不便さを感じている方への移動支援「ちょっくらお出かけサポート」、在宅での暮らしに不安を感じている方への見守り支援「ほのぼのネット」に取り組んでいます。こうした公益的事業の取り組みや『にじいろテラス』での障がい者相談事業「障がい者相談支援センター ほのぼの」の取り組みを通じて、積極的に地域に出向き多くの方と触れ合うことで地域ニーズの掘り起こしを行います。

こうして把握した地域課題の改善に向け、有する専門性と施設機能を最大限活用します。また、地域の方が気軽に立ち寄れる施設づくりに取り組み、地域の皆様と共に誰もが暮らしやすい地域作りについて考えてまいります。

地域の皆さまと共にあるという思いを肝に銘じ、地域福祉の拠点となるべく事業展開いたします。